

ミュージアムパーク茨城県自然博物館
当館初の日本展示学会賞受賞！
企画展「地衣類」が第8回日本展示学会賞を受賞しました

当館において令和5年度に開催した企画展「地衣類 一木を、岩を、地面を彩る身近な生きもの」が、第8回日本展示学会賞を受賞しました。

日本展示学会賞は、展示に関する優れた実践や業績を顕彰するため、日本展示学会が3年ごとに選考・授与している賞です。当館が同賞を受賞するのは初めてとなります。

ぜひ御取材・御紹介くださいますようお願いいたします。

記

1 第8回日本展示学会賞授賞式について

- (1) 日にち：令和8年6月13日（土）
- (2) 会 場：東京学芸大学
- (3) 受賞作：日本展示学会賞11作品（特別賞1作品含む）、奨励論文賞2作品

2 当館の受賞作品について

- (1) 作 品 名：企画展「地衣類 一木を、岩を、地面を彩る身近な生きもの」
- (2) 会 期：令和5年10月7日（土）～令和6年1月21日（日）
- (3) 総入館者数：101,877人



企画展「地衣類」会場の様子



第8回日本展示学会賞授賞式会場にて

【資料の詳細についてのお問い合わせ】

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 （担当） 鵜沢美穂子 （広報） 泉水正和
〒306-0622 坂東市大崎 700 番地 電話：0297-38-0923 FAX：0297-38-1999
E-mail: sensui.masakazu@mail.ibk.ed.jp

※ 写真が必要な場合は、ミュージアムパーク茨城県自然博物館まで御請求ください。

日本展示学会賞について

日本展示学会賞は、展示に関する優れた実践や業績を顕彰するため、日本展示学会が3年ごとに選考・授与している賞です。今回は、令和5年から令和7年までに開催され、学会誌「展示学」に掲載された247件の展示事例を対象に選考が行われ、特別賞1作品を含む11作品が受賞しました。

○第8回日本展示学会賞

- ・対象期間：令和5年1月1日～令和7年12月31日
- ・日本展示学会賞（10作品）
 - 石川町立歴史民俗資料館イシニクル
 - ミュージアムパーク茨城県自然博物館 企画展「地衣類」
 - 東京都現代美術館 「坂本龍一 | 音を視る 時を聴く 展」
 - グランドセイコーミュージアム
 - 熱海秘宝館内「ネオ秘宝館」
 - 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）大屋根リング
 - 亀の瀬地すべり歴史資料室
 - 天王寺動物園 爬虫類生態館アイファー「日本石亀の里山～モウリミスジャポニカ川～」
 - 熊本地震震災ミュージアム KIOKU
 - 名護博物館
- ・日本展示学会特別賞
 - 石川県七尾美術館開館30周年記念・震災復興祈念「長谷川等伯～帰ってきた国宝・松林図屏風～」

企画展「地衣類」について

- ・作 品 名：企画展「地衣類 一木を、岩を、地面を彩る身近な生きもの」
- ・会 期：令和5年10月7日（土）～令和6年1月21日（日）
- ・総入館者数：101,877人
- ・概 要：地衣類は、菌類と藻類が共生して形成される生物群であり、岩や樹木、地面など身近な場所に広く生育しています。本企画展では、「地衣類ってなんだろう？」という素朴な疑問から出発し、その多様性や生態、人との関わりについて、実物資料や映像、体験展示を通して紹介しました。国内有数の地衣類コレクションや最新の研究成果を活用し、専門家から一般来館者まで幅広い層に向けて地衣類の魅力を発信しました。

「地衣類」受賞理由について

教科書での扱いが少なく、コケと誤解されがちな地衣類に対し、「実は…」と語りかける導入から特異な生態を伝える構成が秀逸であること、ガードレールやベンチをまるごと展示する試みが斬新であり、アートな雰囲気の中に来場者の興味を喚起する様々な工夫が施された点が評価されました。

また、展示を通じて日常の風景を見る解像度を上げ、来館者の意識変化を促し、いつもの見慣れた景色の見え方を一変させる力を持った点も高く評価されました。